

お仏壇 お飾り

浄土真宗本願寺派



早良組
だより



浄土真宗本願寺派 福岡教区 早良組

発行/福岡教区早良組寺院機能振興・情報啓発部門
事務所/福岡市早良区野芥2-7-8 明性寺内 ☎871-0578 撮影協力/(株)太田屋佛具本店

特別号

知っておきたい
お仏壇のこと。

お仏壇
知識と心得

Q&A

Q 故人の写真はお仏壇に入れてよいのでしょうか？

A 入れないようにしましょう。

お仏壇はあくまで阿弥陀さまが中心です。お写真を飾る場合はお仏壇の中や真上は避けましょう。

Q お仏壇には何をお供えしますか？

A お仏飯、菓子、果物などが一般的です。

ご飯が炊けたら仏飯器に蓮の蕾の形に盛り、一番最初にお供えます。お供えたお仏飯は昼までにはお下げし、菓子や果物などのお供え物は粗末にせず、おいしく頂けるうちに頂きましょう。

Q お茶やお水はお供えしないと聞きましたが？

A お茶はお供えしません。

お水をお供えする場合は、華瓶に水を入れ、桜もしくはそれに似た青い葉を入れます。

Q 浄土真宗は黒塗りのお位牌は作らなくてよいのですか？

A はい。浄土真宗ではお位牌は用いません。

浄土真宗ではお位牌は用いず、法名軸や過去帳を用います。しかし実際はお葬式の際などには白木のお位牌が使用されているようです。そこで、満中陰(四十九日)などのご縁に過去帳に記帳することが多いようです。

他にもご質問などあれば寺院へお気軽にお尋ねください。



お仏壇とは

お仏壇はご本尊「阿弥陀さま」をご安置し、阿弥陀さまのくに「極楽浄土」を表しています。

私たちが平素お勤めするお経には、極楽浄土の様子が説かれています。

その極楽浄土の様子に私たちが心を向け易いよう、目で見える形に表したものがお仏壇です。

中央にお迎えするのがご本尊、阿弥陀さまです。このご本尊がお仏壇の中心であり、そのお仏壇を自宅にお迎えすることは自宅の中心、私の生活の中心が仏さまとなることに他なりません。私たち浄土真宗では「お内仏」と呼び習わしています。

いつでもどこでも称えることができるのがお念仏です。しかし、実際には先立たれた人のご縁や、お仏壇の前などが手を合わせ易く、お念仏も申し易いものです。

仏さまに手を合わせ、お念仏と共に日々の生活を送る上で、中心となるのがお仏壇なのです。

お経をもとにお飾りしたものがお仏壇ですから、お経からかけ離れた様子にならないよう気をつけましょう。

この冊子は、お仏壇のお飾りの配置などが分からなくなったときに見て頂くだけでなく、それぞれのお飾りの意味や、疑問などについても書いています。お仏壇の近くに置いて頂き、時折目をお通し下さい。

お仏壇 お飾り

浄土真宗本願寺派



仏具の飾り方

知っている、もっと愛着が増す
美しいお仏壇を飾る仏具のお話。

お仏壇は、寺院の内陣を小型化したものであり、基本的な仏具やお飾りの仕方は寺院に準じています。以下に示したのは実用面を重視したひとつの参考例ですが、お仏壇の大きさによっては正式のお飾りをするのはむずかしい場合もあります。そのような時は身近な寺院に相談し、お仏壇の大小や置く場所に合った飾り方を選びましょう。

床置き型のお飾り例



仏具の配置



※左図は三具足、
右図は五具足のお飾り例です。



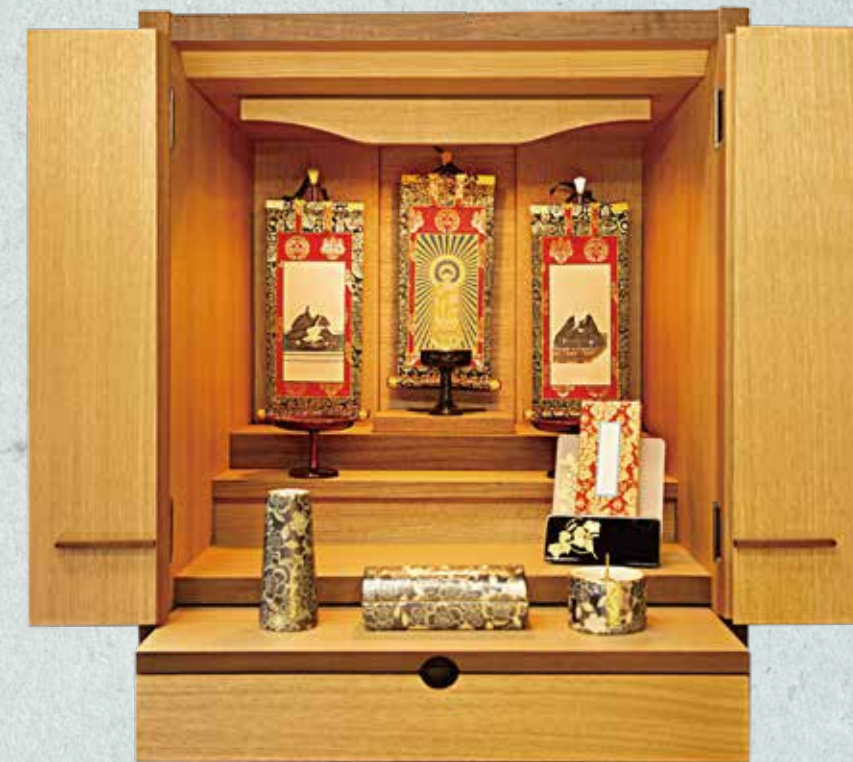
仏具の名称と説明

- ① **ご本尊** (ごほんぞん) 浄土真宗のご本尊は阿弥陀如来です。両脇にはお脇掛けをかけます。
- ② **仏飯器** (ぶつばんき) お仏飯はご飯が炊けたら一番最初にお供えます。朝にお供えできないときは、昼や夕方でも構いません。お供えする気持ちが大切です。
- ③ **華瓶** (けびょう) 華瓶には櫛しきみをお供えます。櫛がないときは、青い葉でも構いません。
- ④ **過去帳** (かこちょう) 浄土真宗ではお位牌を用いず、過去帳を用います。
- ⑤ **瓔珞** (ようらく) ご本尊前を荘厳する珠玉や花形をかたどる仏具です。
- ⑥ **金灯籠** (かなどうろう) 金属製の装飾された灯明具です。
- ⑦ **輪灯** (りんとう) 金属製の装飾された灯明具です。
- ⑧ **供筥** (くげ) お供え物をお供えする台です。
- ⑨ **花瓶** (かひん) お花をお供えます。
- ⑩ **蠟燭立** (ろうそくたて) 平素は白蠟、お祝い事などの際には朱蠟を用いることもあります。
- ⑪ **金香炉** (かなごろう) 金属製の香炉です。
- ⑫ **土香炉** (どごろう) 陶磁器製の香炉です。
- ⑬ **経卓** (きょうじょく) 経本を置くための机なので、経本以外は置きません。
- ⑭ **鈴・鑿** (りん・きん) お経を読むときに叩きます。
- ⑮ **御文章箱** (ごぶんしょうぼこ) 御文章(蓮如上人のお手紙)を入れる箱です。お飾りではなく拝読するものです。
- ⑯ **念珠掛** (ねんじゅかけ) お念珠は、畳の上などに直に置かないようにしましょう。

上置き型のお飾り例



※左図は五具足、
右図は三具足のお飾り例です。



ご本尊について

ご本尊は阿弥陀さまです。中央にご本尊、両脇にお脇掛けという軸をかけます。お脇掛けは、向かって右側に宗祖「親鸞聖人」、左側に中興の祖「蓮如上人」をおかけします。ご本尊、お脇掛けは本山からお受けします。詳しくはお取次ぎのお寺にご相談下さい。また、本山では故郷を離れて生活されているご家族にもご安置いただけるよう、ご本尊「いちょう」・「きく」が制定されました。マンションなど、お仏壇を置くスペースのない現代の住まいに合わせたサイズです。



三具足と五具足

お仏壇のお飾りには三具足と五具足があります。三具足とは花瓶(お花)、蠟燭立(お灯明)、香炉(お香)の三種類で、平素はこの三具足でお飾りします。特別な仏事、ご法事や報恩講などの日には五具足を用います。五具足は花瓶と蠟燭立がそれぞれ一対になり、三種五具のお飾りになります。

